

# 2014年度－2016年度 中期経営計画

2014年4月23日

株式会社東京金融取引所

Tokyo Financial Exchange Inc.

# はじめに



- 我が国経済は、アベノミクスの金融・財政政策により少しずつ力強さを取り戻し、デフレ脱却の展望が徐々に表れつつあります。  
今後、成長戦略に基づく規制改革等の推進により、持続的な経済成長が期待されています。
- 公的取引所である東京金融取引所は、「金融デリバティブの総合取引所」として、健全な金融市場の発展を通じて、我が国経済の成長に貢献していくことがその使命であり、投資家保護に留意しつつ、魅力的で信頼性の高い商品を提供し、膨大な個人金融資産の活性化を図り、金融面から経済成長の促進に寄与することが求められています。
- このため、引続き、2014年度を初年度とする3ヶ年の中期経営計画を策定します。

# I 基本戦略



**円金利市場における、  
将来の金利上昇に備えた中期ゾーン金利の取引ニーズと  
世界的な店頭デリバティブ規制強化の流れを受けた上場商品ニーズに対応**

**為替証拠金市場の投資家層を  
「国内・個人」から「海外・法人」にも拡大するとともに  
機関投資家向けの為替先物市場を創設**

**株価指数証拠金取引の利便性向上と  
多様な投資ニーズへの対応**

**市場の公正性及び信頼性の確保**

# Ⅱ 事業戦略



## 1. 金利先物等取引事業

- 将来の金利上昇に備えた取引ニーズへの対応として、  
中期ゾーン取引を中心とした流動性向上により市場を活性化
- 海外市場参加者の拡大
- 世界的な店頭デリバティブ規制強化の流れを受けた  
上場商品ニーズの高まりに応じて、  
店頭取引との代替性を備えた新商品を上場

## 金利先物等取引

将来の金利上昇に  
備えた取引ニーズ

店頭デリバティブ規制強化の  
流れを受けた上場商品ニーズ

### (1) 市場の流動性向上・活性化

- 中期ゾーンのマーケットメイク拡充（2014）
- アジアを中心としたリクイディティ・プロバイダー導入（2014）
- 海外からの新規市場参加者の参入促進（2014）

### (2) 新商品の上場

- 金利スワップ関連商品（2015）
- 金利先物ミッドカーブオプション（2016）

# Ⅱ 事業戦略



## 2. 証拠金取引事業

- 「くりっく365」市場の投資家層を「国内・個人」から「海外・法人」に拡大するとともに、機関投資家ニーズに合致した為替先物市場を創設
- 「くりっく株365」投資家の利便性向上と多様な投資ニーズへの対応

## くりっく365

法人投資家・  
機関投資家のニーズ



### (1) 「くりっく365」法人投資家の拡充

- 取引振興策を活用した国内外法人投資家の拡充（2014）

### (2) 機関投資家向けの為替先物市場の創設

- 機関投資家ニーズに合致した為替先物市場の創設（2015）
- 新市場創設に伴う所要のインフラ構築（2015）

## くりっく株365

個人投資家のニーズ



### (1) 投資家の利便性向上

- 「くりっく株365」と「くりっく365」の口座一元化の実現（2014）
- マーケットメイカー拡充によるスプレッド縮小（2014）

### (2) 多様な投資ニーズへの対応

- 投資家ニーズを踏まえた新商品の上場（2015）



## Ⅱ 事業戦略



### 3. 市場の公正性及び信頼性の確保

- (1) システムの安定運用
- (2) 清算機関に対する国際的な規制の枠組み対応
- (3) 市場の公正性・透明性を確保し投資者保護に資する  
自主規制機能の充実
- (4) 株式上場を展望した内部管理体制の整備